

日本経営診断学会第 54 回統一論題 趣意書

統一論題テーマ:「急激な・未経験の環境変化に対応するビジネス・マネジメントと診断」

—On and after COVID-19 のビジネス・マネジメントと診断—

周知のように、2019 年末に中国武漢に端を発した新型コロナ・ウイルス感染症(COVID-19)は、その後、わが国でも 2020 年 2 月に入ってから流行の兆しを見せ、全世界を瞬く間に Pandemic の恐怖に陥れた。大学の授業は、ほぼすべて遠隔授業となり、4 月の初旬から 5 月中旬(1 都 3 県は下旬)まで第 1 回緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出は禁止、百貨店や映画館など多くの人が集まる施設の使用などが大幅に制限された。これによる経済損失は、▲5,300 億円とも予測されている(株三菱総研試算による)。その後、第 2 波が 7 月上旬から 10 月まで、第 2 波が収まらないうちに一日に 2000 人を超える第 3 波が襲来し、わが国でも 43000 人を超える感染者を数えた(3 月上旬現在)。2021 年 3 月 5 日現在、全世界で感染者は 1 億 1 千 5 00 万人を超え、死者は 265 万人超に達している。政府は、2021 年 1 月 7 日に第 2 回緊急事態宣言を発出、2 月 7 日で終了予定が、延期され今もなお続いている。このような事態は、これ以前のスペイン風邪の流行が、1918-1919 年であることから、今生きている人ほぼすべてにとって初めての経験であると言えるだろう。

この未曾有の感染症流行は、当然のごとく経済への影響も大きく、世界でも多くの企業やビジネス(とりわけ娯楽に関係するサービス業や外出着を中心としたアパレルなど)が大きな打撃を受けており、かつて隆盛を極めたような世界的企業でさえ、倒産の憂き目にあったりしている。

しかしながら、一方で、国内ビジネス事情に目をやると、マスコミの報じるニュースなどではこの感染症、そしてそのための行動規制による経済へのマイナス影響が多く報道されているにも拘わらず、2020 年(1-12 月)の全国企業倒産件数は、負債額 1,000 万円以上のものが 7,773 件(前年比 7.2%減)、負債総額は 1 兆 2,200 億 4,600 万円(同 14.2%減)であり、株価は 2021 年 2 月 15 日には、東京株式市場で日経平均株価が一時、3 万円の大台を記録したりしている。

このようなかつてない未経験の環境変化の中、事業者のかじ取りは、ますます複雑かつ困難なものになってきている。折しも、SDGs によって事業の存続だけでなく、さまざまな面からの永続的な取り組みが求められていることに加えて、急激な環境の変化に対応するマネジメントが求められているのである。

そのようなことから、日本経営診断学会第 54 回全国大会における統一論題は上記のごとく「急激な・未経験の環境変化に対応するビジネス・マネジメントと診断—On and after COVID-19 のビジネス・マネジメントと診断—」とし、事業マネジメント、およびその診断に今求められているものは何か、この先、このような事態に遭遇した際に、どのようなマネ

ジメントとその診断方法が有効であるのかといったことを議論し、研究すると同時に、これまでの経営・マーケティング手法の有効性や、このような危機を乗り越え、持続可能な社会を創造するための“新しい何か”を生み出す源泉となるものについても積極的に議論していきたいと考える。もちろん、上掲テーマのみならず、経営診断に関する幅広いテーマでも積極的な報告を期待するものである。

なお、このような先行き不透明な状況下での全国大会開催であるため、開催機関は未だ決定していないが(現在の第1候補機関：千葉商科大学、第2候補：大東文化大学、第3案：遠隔会議システム)、できるかぎり、対面での開催を実施するべく、また遠方の、そして外出困難な状況の会員の皆様のために、対面・リモートのハイブリットによる開催も視野に入れつつ、大会実行委員会一同、鋭意努力しているところであり、一層の会員諸氏のご協力をお願いしたい。

以上

日本経営診断学会第54回全国大会実行委員会代表

長谷川 博

野口 正

首藤 禎史

(2021年3月吉日)

*第53回に行われました「ラウンドテーブル・ディスカッション」は今回も、実施する予定です。詳しくは「ラウンドテーブル・ディスカッション実施要領」をご覧ください。

*開催機関または遠隔会議システムの利用については、プログラムをお知らせする際にご通知いたします。ご了承ください。

日本経営診断学会会員各位
年 3 月吉日

2021

日本経営診断学会第 54 回全国大会実行委員会

日本経営診断学会第 54 回全国大会のご案内

拝啓 会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。このたびの 2021 年度の第 54 回全国大会につきましては、「趣意書」にも記載いたしましたとおり、新型コロナウイルス感染症の流行により、開催施設を未だ確保できない状況にあります。そのため、開催機関および開催日程も確定できない中(現在の第 1 候補機関：千葉商科大学、第 2 候補：大東文化大学、第 3 案：遠隔会議システム)、できるかぎり、対面での開催を実施するべく、また遠方の、そして外出困難な状況の会員の皆様のために、対面・リモートのハイブリットによる開催も視野に入れつつ、大会実行委員会一同、開催に向けて鋭意努力しているところです。

統一論題については、趣意書にもあるとおり「急激な・未経験の環境変化に対応するビジネス・マネジメントと診断—On and after COVID-19 のビジネス・マネジメントと診断—」とさせていただき、変化して止まないビジネス環境への対応というだけでなく、このような不測の事態に対する事業のマネジメントと診断について、会員諸氏と有益な議論を交わしたく大会を開催・実施する心構えでおります。

つきましては、このような状況下ではございますが、第 54 回全国大会において、会員の皆様の多数のご参加と充実した討論の場を提供できるよう、以下にありますように実行委員会一同、準備を進めておりますので、ご協力ほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時： 10 月 15 日（金）～10 月 17 日（日） or 10 月 22 日（金）～24 日（日）
（金曜日は、理事会および各種委員会）
2. 会場：千葉商科大学 or 大東文化大学、または遠隔会議システム
3. 統一論題：「急激な・未経験の環境変化に対応するビジネス・マネジメントと診断
—On and after COVID-19 のビジネス・マネジメントと診断—」
（別紙参照）
4. 報告募集：日本経営診断学会第 54 回全国大会報告希望者募集について（別紙）参照
5. 実行委員会：長谷川 博(千葉商科大学)、野口 正(中小企業診断協会)、首藤禎史(大東文化大学)、秋田 舞美(中小企業診断士・千葉商科大学)、野木村忠度(千葉商科大学)、仁平京子(千葉商科大学)、大下 剛(千葉商科大学)、清水真人（大東文化大学）
6. 問い合わせ先：

日本経営診断学会第 54 回全国大会実行委員会幹事

首藤禎史(しゅとう ただし)-関東・東北部会長-

電話: 03(5399)7300(内 3623) FAX: 03(5399)7364 E-mail: tashuto@ic.daito.ac.jp

野木村忠度(のぎむら ただのり) E-mail : nogimura@cuc.ac.jp

*開催日時および機関については、プログラムの発送までには確定・お知らせできるように致します。

以上